

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】エコアクション21を取得する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15						
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】自社の環境に関する取り組みをHP等で公開する。												12.6									
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・自社はエネルギーを大きく消費する事業を実施していません。							7.2						13								
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・非合法材を使用していないことの確認を行っている。												12.2	13	14	15						
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・規定、注意事項順守誓約書に汚職、贈収賄禁止等の内容を記載するとともに、社内への浸透を図っている。																		16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範を整備し、情報共有を行っている。																			16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得・管理している。											8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報に関する基本方針」を定め、体制を整備している。 ・「スタッフSNS対策」を作成し、個人情報保護等に関するルールを周知徹底している。																				16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社事業に関して、紛争鉱物を使用していないことを確認している。																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・人事評価制度を作成するにあたり、倫理面における環境整備を業務提携会社と連携して行っている。 ・業務提携会社とコミュニケーションを取り、人権侵害の防止等の確認活動を行っている。					5						8		10	12	13	14	15	16	17		
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・サービスの安全性を確保するため、セーフティマニュアルを作成し、従業員への研修を実施した上で資格取得した者が業務に携わるようにしている。			3.9										12.4							
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	・顧客の声は日報にて社内共有を行い、サービスの品質向上に活用している。																			9		
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	・カフェ等で新たに販売する商品を検討する際に、原材料や資材に関して環境に配慮したものを使用する。							6							12	13	14	15				
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	THE SDGs Action cardgame「X」の認定ファシリテーターを取得し、地域に対してカードゲームを用いたSDGsの講習会を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・近隣の宿訪問を行い、対話を通して自社事業の地域への影響を把握し、品質向上や改善を行っている。				4									9			11	12			14	15			17						
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の小学生を対象に「白馬EXアドベンチャー 1day SDGs キャンプ」を実施し、交流の機会やSDGsを学ぶ機会を無償で提供している。				4													11					14	15			17				
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】地域で生産している商品を積極的に活用していく。													8	9				11	12	13										
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化し、従業員に周知を徹底している。 ・毎月定例会議を行い、経営目標や会議内容を適宜共有している。														8	9											17				
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・コンプライアンス研修を実施している。																										16				
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・【予定】環境に及ぼす影響に対応する担当責任者を配置する。																										16				
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動の影響を把握し、対応を実践している。																									16	17				
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・【予定】リスクマップ等を活用し、リスクを洗い出し、適切な対策を講じる。																										16				
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】CSRの方針を策定し、担当者を設け具体的に対応していく。																										16				
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画を策定し、定期的な訓練を実施する。																								9		11		13 13.1		16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者育成のために、研修及び環境整備を行っている。														8	9												17			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
・冒険教育プログラムを実施する。	冒険教育プログラムを通して、人と協力して課題を解決していくプロセス等を学ぶ機会を提供する。			3	4	5						10																				17	
・SDGsをテーマにした体験学習プログラムを実施する。	体験学習プログラムを通して、SDGsについての理解を深めることや、目標達成のための実践方法を考える機会を提供する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
・川の上流の清掃や環境保全活動を行う。	ラフティングを行う際に、川の清掃や環境保全活動を実施している。																										14	15					
・カフェで販売する材料の一部を敷地内で栽培する。	バジルを敷地内で栽培し、メニューで使用する。また施設内で告知することでSDGsへの取り組みを知るきっかけをつくる。		2																												12		15

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）